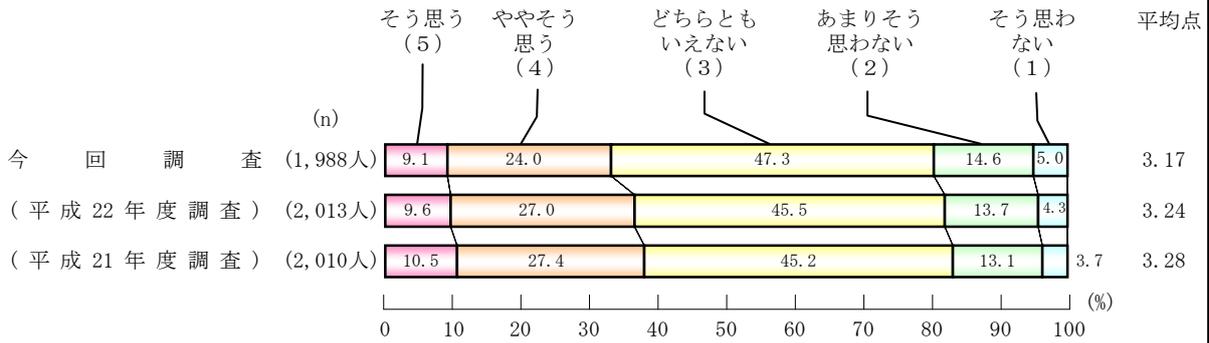
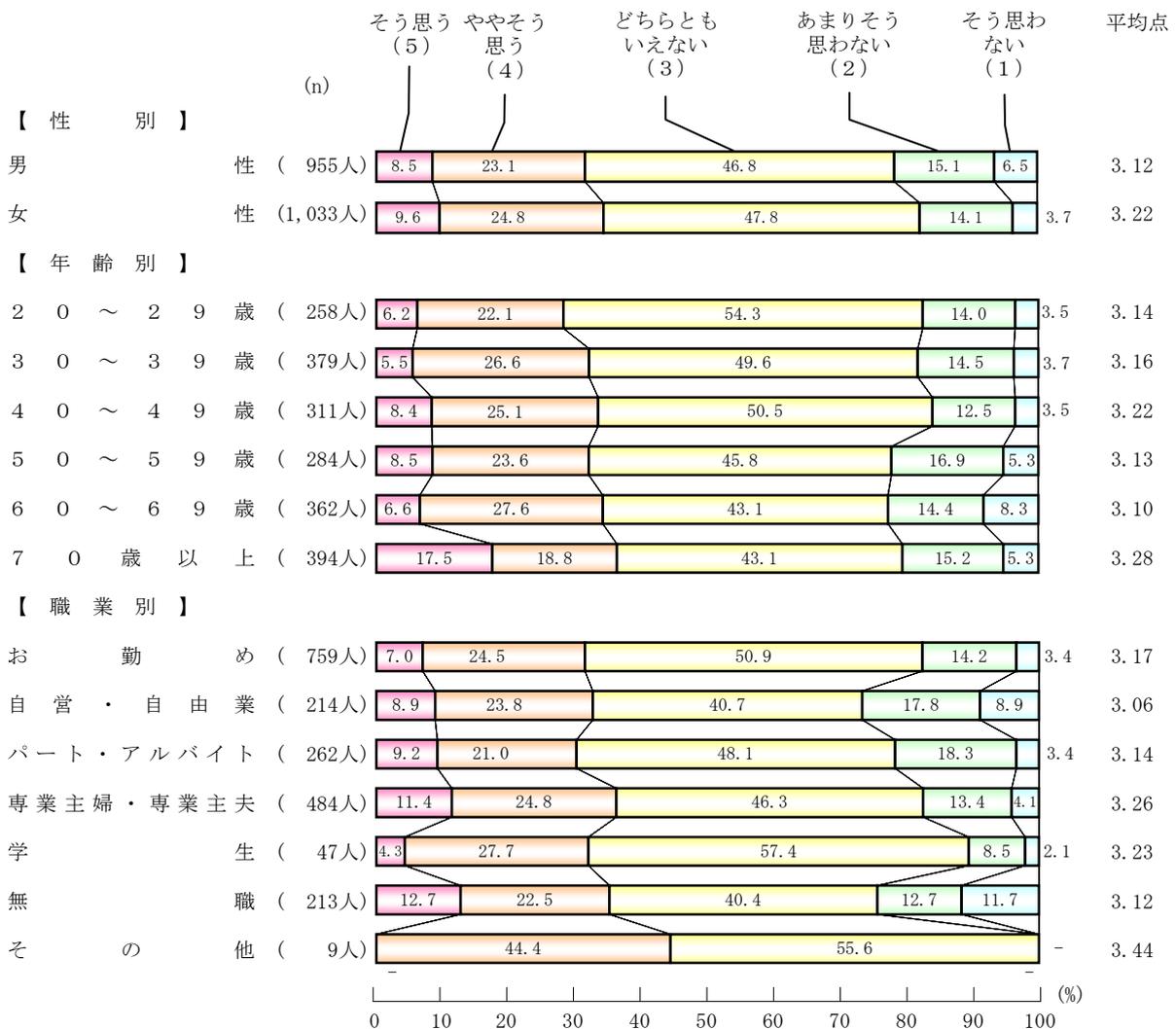


Q4 (d) 納得できる裁判(判断)が行われている

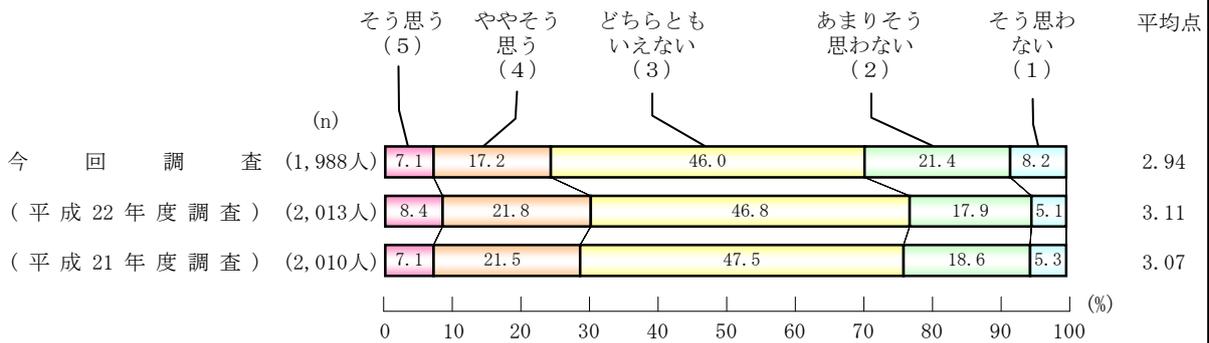


裁判員制度が始まる前の『納得できる裁判(判断)が行われている』という印象では、『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)は33.1%、『そう思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)は19.6%である。

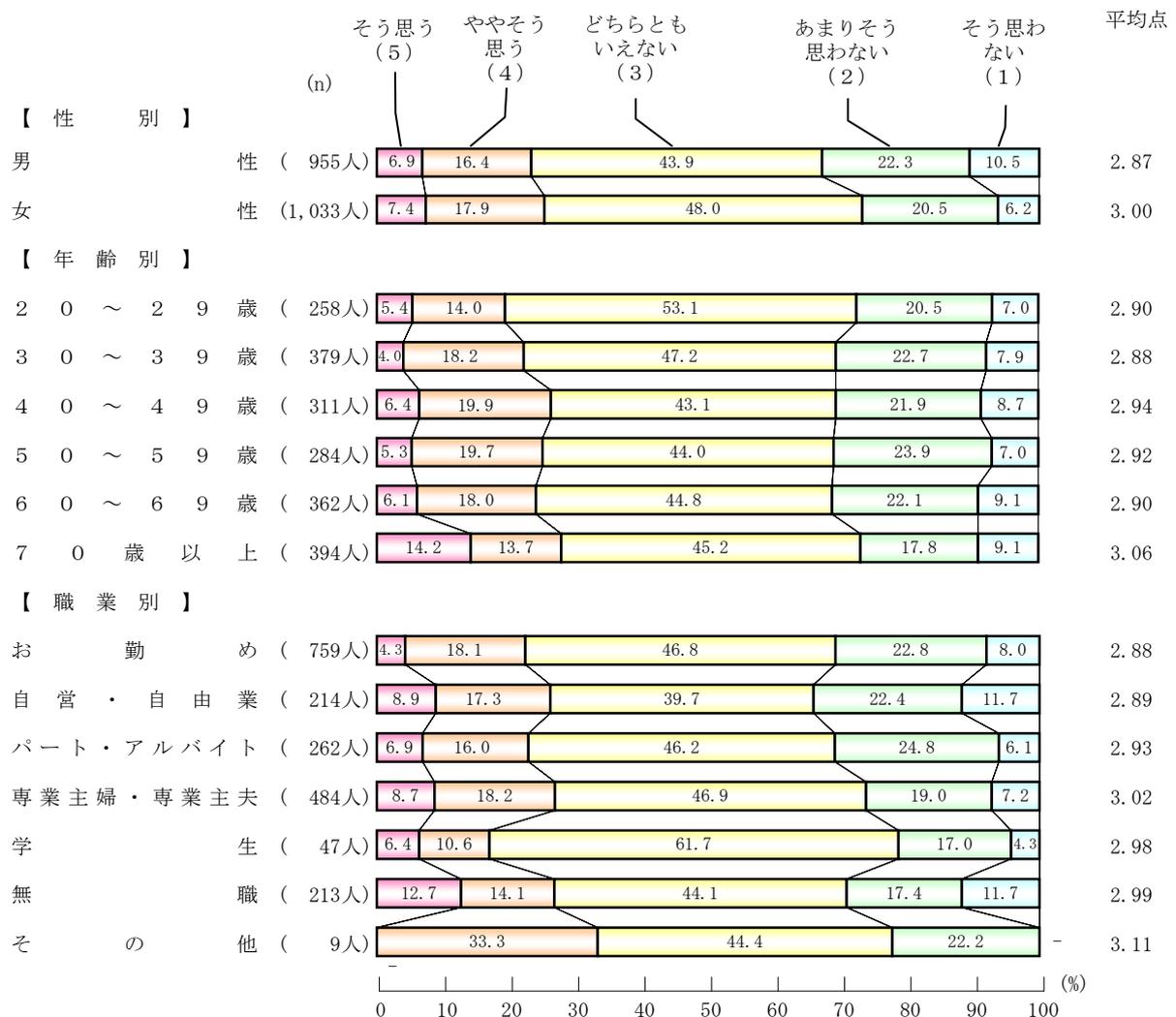


『納得できる裁判(判断)が行われている』という印象について、『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差はみられず、年齢別にみると、70歳以上で高く、20代で低くなっている。職業別にみると、専業主婦・専業主夫、無職で高くなっている。

Q4 (e) 国民の感覚が反映された裁判(判断)がされている

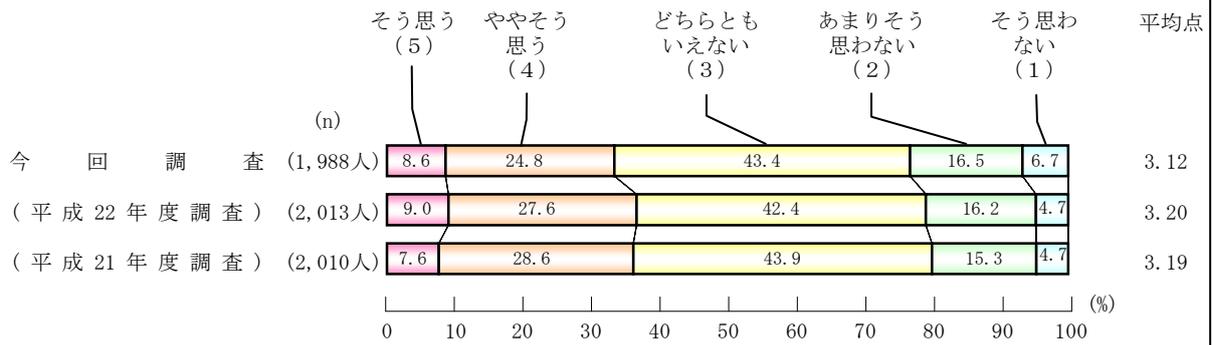


裁判員制度が始まる前の『国民の感覚が反映された裁判(判断)がされている』という印象では、『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)は24.3%、『そう思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)は29.6%である。

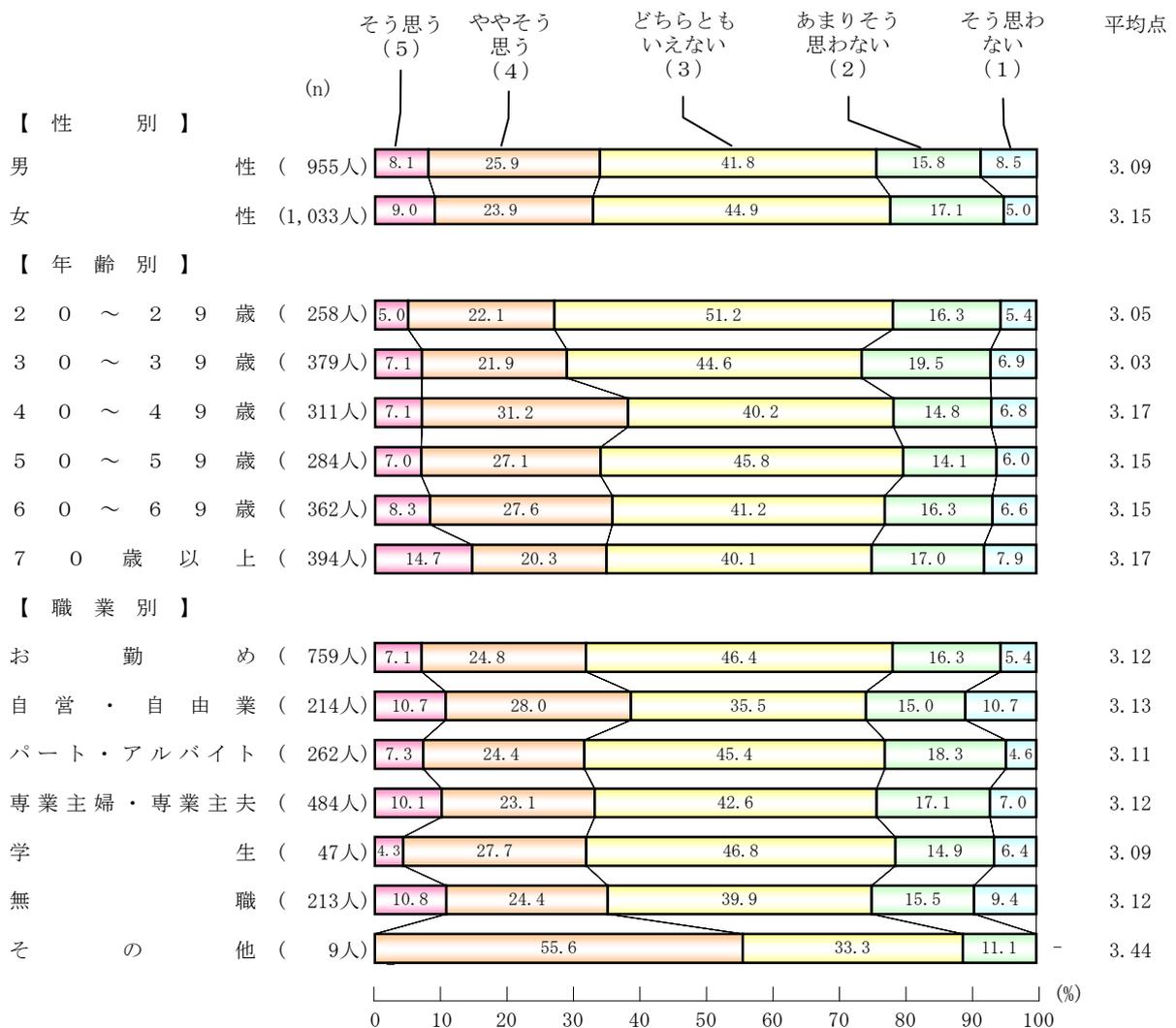


『国民の感覚が反映された裁判(判断)がされている』という印象について、『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差はみられず、年齢別にみると、20代で低く、40代、70歳以上で高くなっている。職業別にみると、専業主婦・専業主夫、無職、自営・自由業で高くなっている。

Q 4 (f) 事件の真相が解明されている

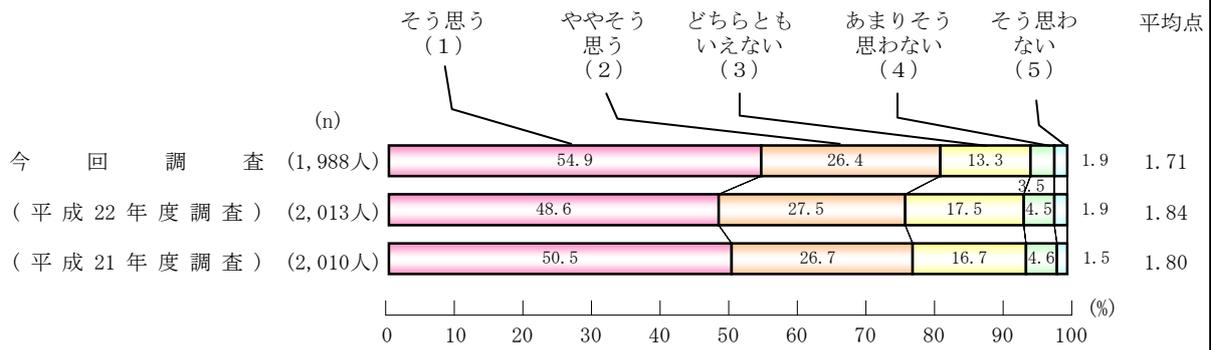


裁判員制度が始まる前の『事件の真相が解明されている』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は33.4%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は23.2%である。

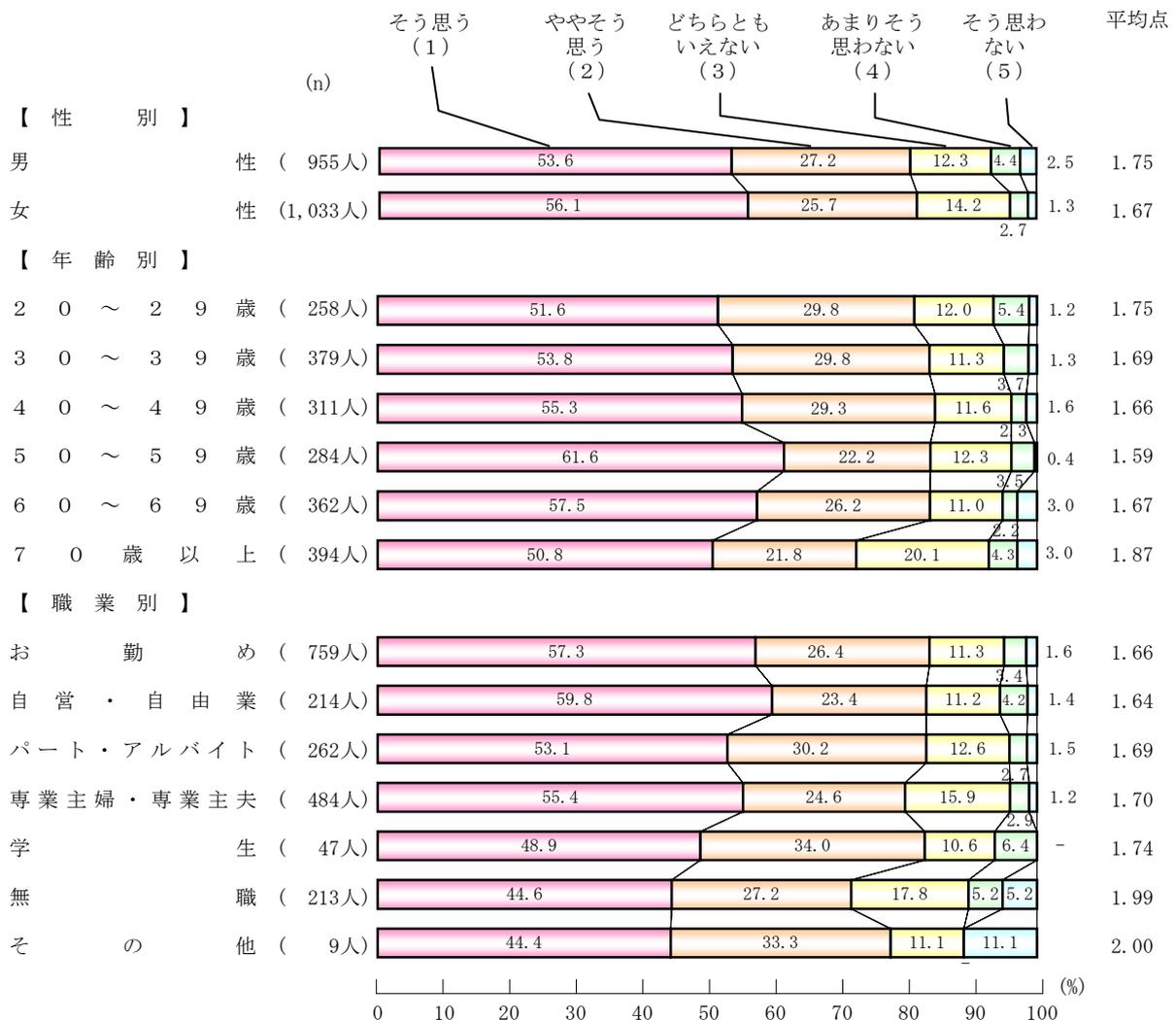


『事件の真相が解明されている』という印象について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差はみられず、年齢別にみると、40代で高く、20代、30代で低くなっている。職業別にみると、自営・自由業で高くなっている。

Q4 (g) 裁判の手續や内容が難しい、わかりにくい

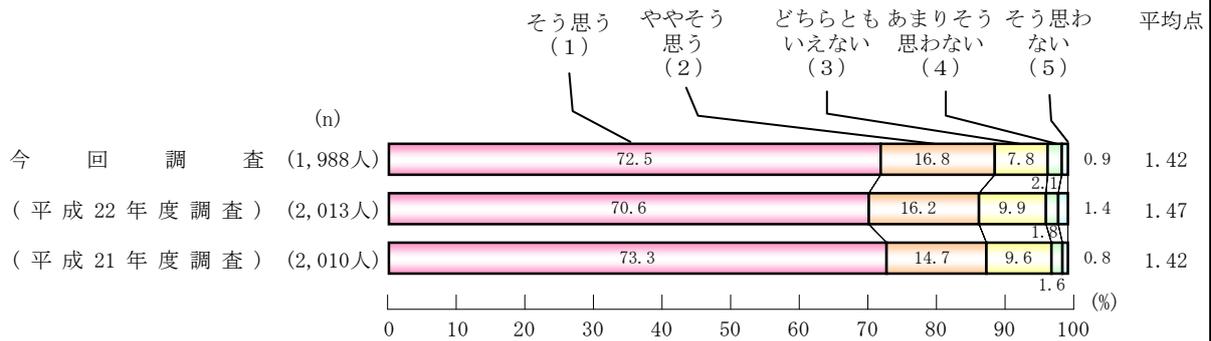


裁判員制度が始まる前の『裁判の手續や内容が難しい、わかりにくい』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は81.3%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は5.4%である。

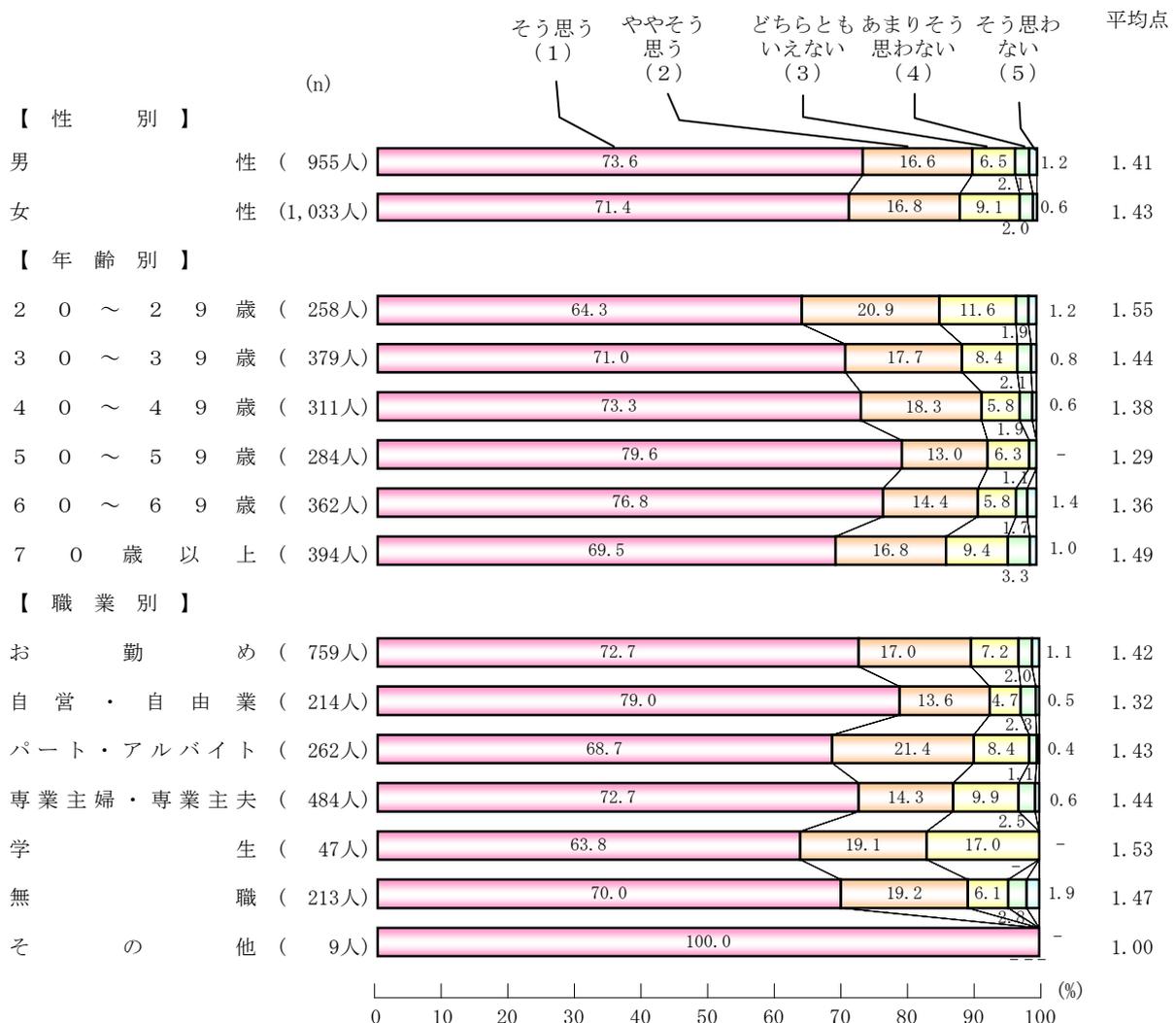


『裁判の手續や内容が難しい、わかりにくい』という印象について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差はみられず、年齢別にみると、70歳以上で低くなっている。職業別にみると、無職で低くなっている。

Q 4 (h) 裁判に時間がかかる

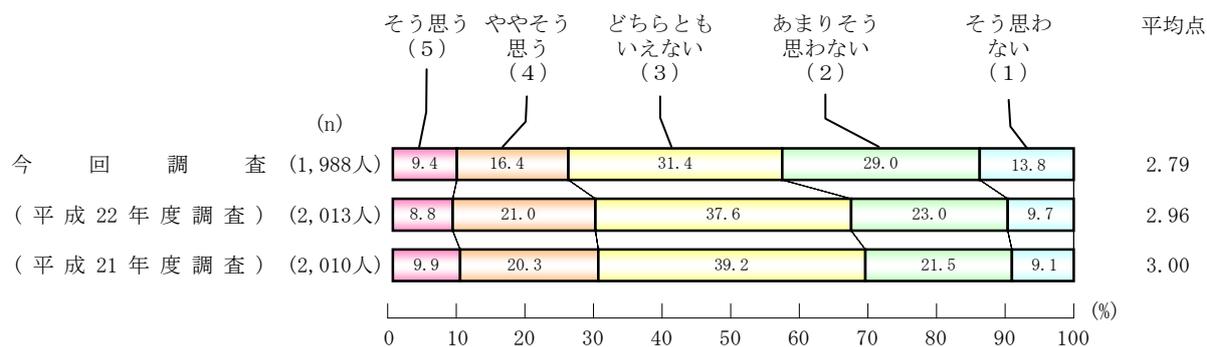


裁判員制度が始まる前の『裁判に時間がかかる』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は89.3%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は3.0%である。

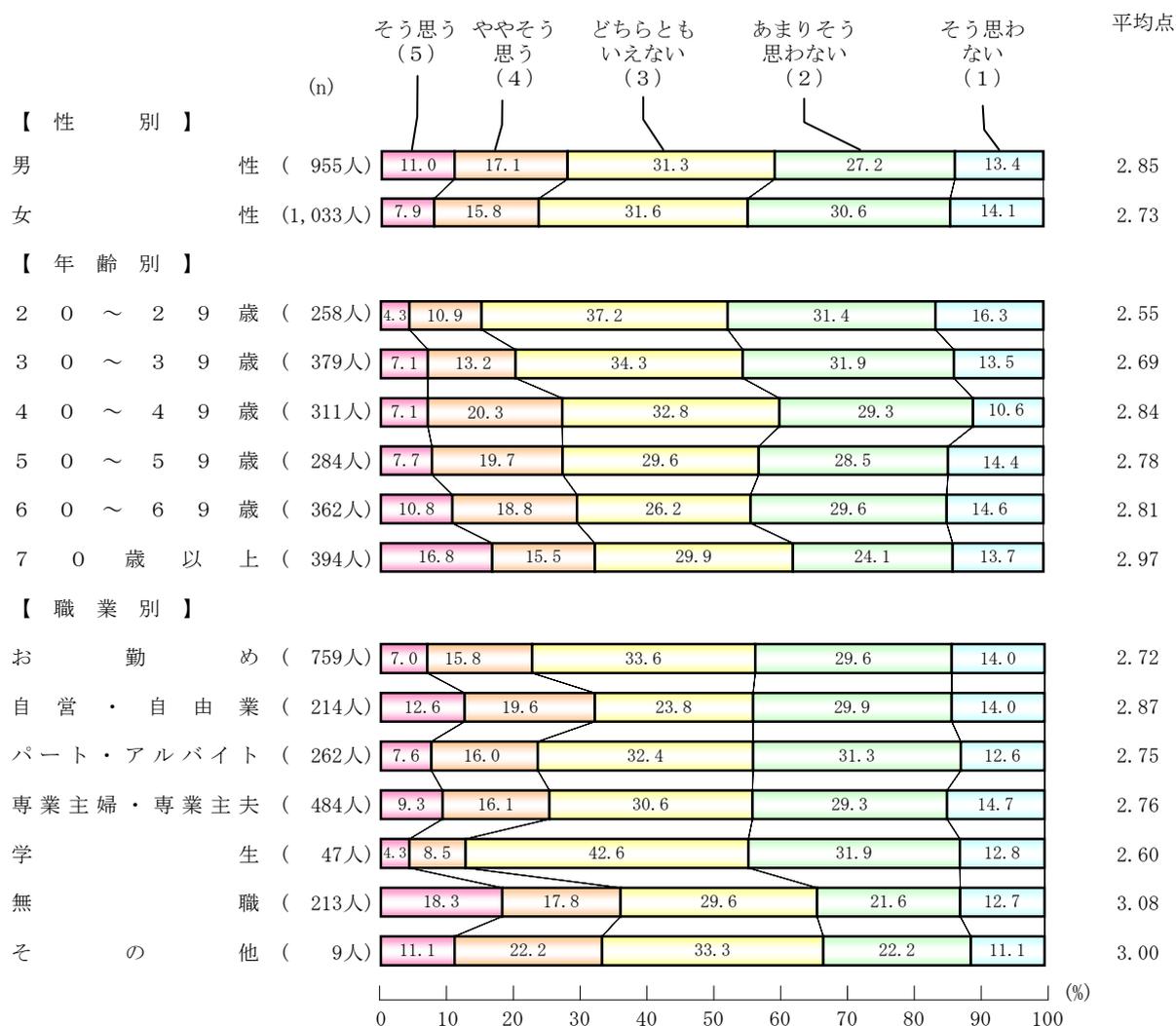


『裁判に時間がかかる』という印象について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差はみられず、年齢別にみると、20代、70歳以上で低くなっている。職業別にみると、自営・自由業で高くなっている。

Q4 (i) 刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が高く自分の問題として考えている



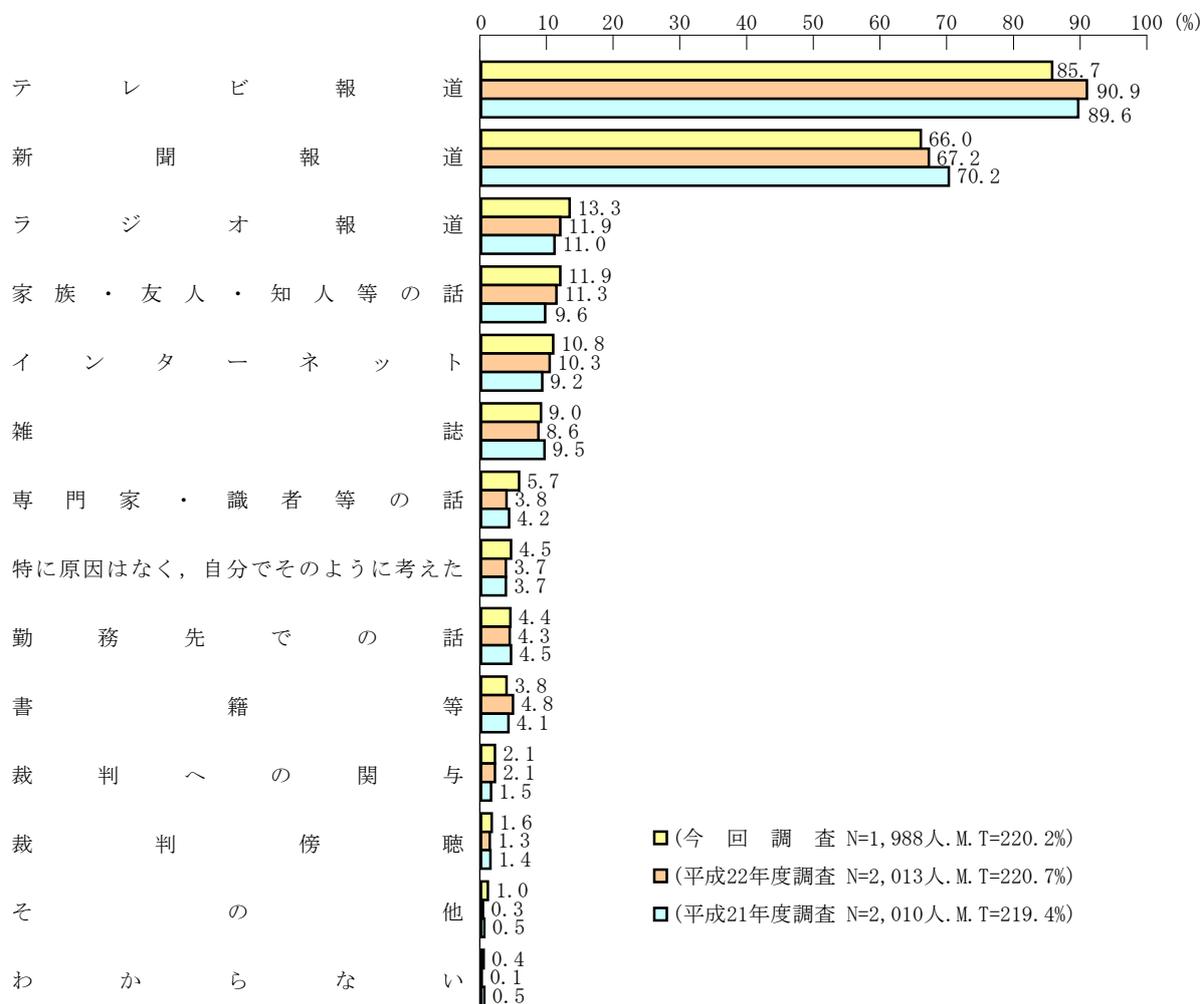
裁判員制度が始まる前の『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が高く自分の問題として考えている』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は25.8%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は42.8%である。



『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が高く自分の問題として考えている』という印象について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、男性で高く、年齢別にみると、70歳以上で高く、20代で低くなっている。職業別にみると、無職、自営・自由業で高くなっている。

5 裁判員制度が始まる前の刑事裁判についてQ4の印象を持つことになった原因

Q5 [回答票5] あなたが前問のような印象を持つことになった原因は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)



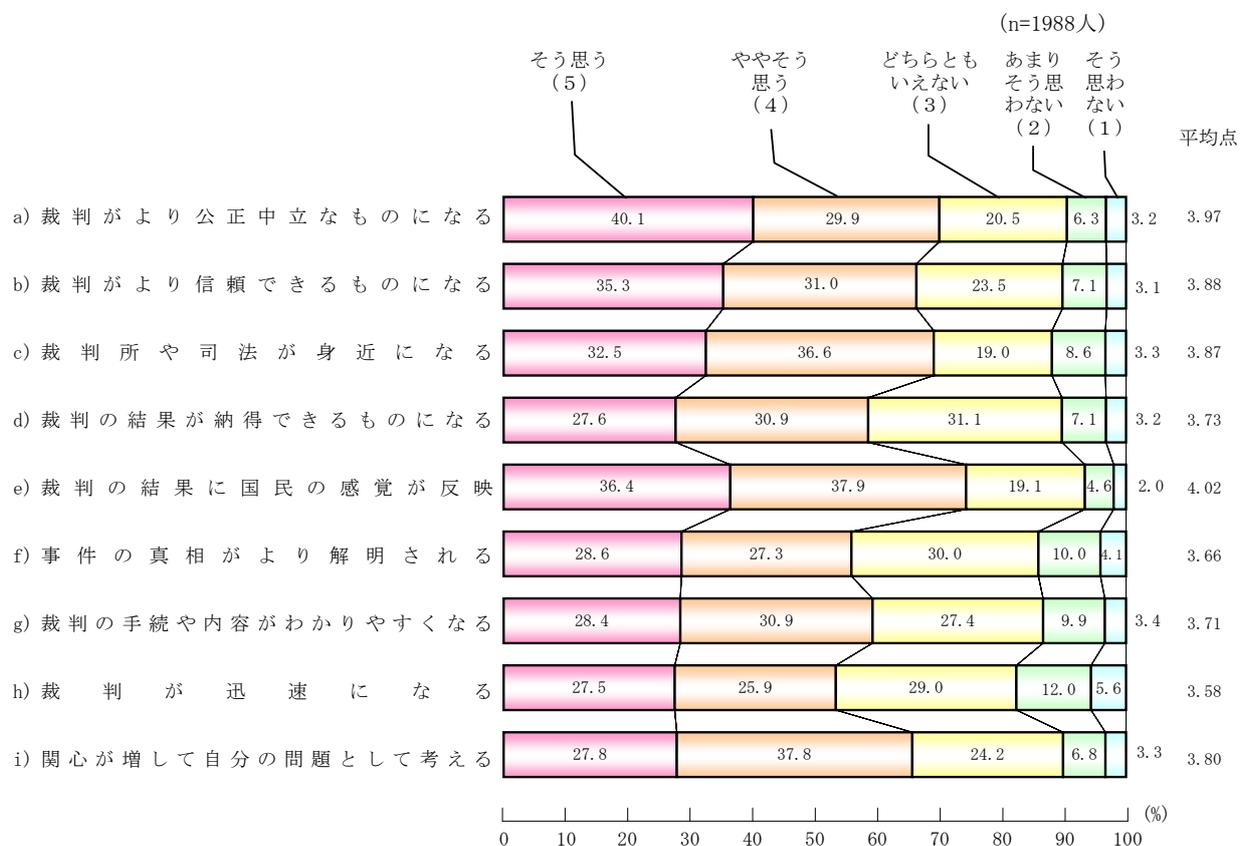
裁判員制度が始まる前の刑事裁判についてQ4の印象を持つことになった原因を聞いたところ、「テレビ報道」が85.7%と最も高く、次いで「新聞報道」が66.0%であった。以下、「ラジオ報道」(13.3%)、「家族・友人・知人等の話」(11.9%)、「インターネット」(10.8%)となっている。

	該当数 (n)	新聞報道	雑誌	書籍等	テレビ報道	ラジオ報道	インターネット	裁判への関与	裁判傍聴	家族・友人・知人等の話	勤務先での話	専門家・識者等の話	特に原因はなく、自分でそのように考えた	その他	わからない	回答計
<b>F1【性】</b>																
男性	955	70.2	11.0	4.7	83.6	15.7	15.3	2.7	2.2	10.1	6.4	6.9	4.9	1.4	0.6	235.6
女性	1033	62.1	7.1	3.0	87.7	11.1	6.7	1.5	1.1	13.6	2.5	4.6	4.1	0.6	0.2	206.0
<b>F2【年齢】</b>																
20～29歳	258	40.3	5.0	2.3	86.4	6.6	16.7	0.8	3.1	14.7	1.9	3.9	6.2	3.5	0.8	192.2
30～39歳	379	53.0	6.9	5.0	84.2	9.2	18.5	2.4	1.1	12.9	5.5	3.2	5.0	0.3	1.1	208.2
40～49歳	311	71.1	11.9	4.2	86.8	11.6	16.1	2.6	1.3	11.6	5.8	7.4	3.9	-	-	234.1
50～59歳	284	77.8	14.8	6.0	87.3	17.6	10.2	3.5	2.5	13.0	6.7	10.9	3.5	1.1	-	254.9
60～69歳	362	78.2	9.9	2.8	83.7	19.1	4.4	1.9	0.8	10.2	5.5	5.2	5.5	0.6	-	227.9
70歳以上	394	71.6	6.1	2.8	86.5	14.7	1.8	1.5	1.5	10.2	1.0	4.8	3.0	1.0	0.5	207.1
<b>F3【職業】</b>																
お勤め	759	66.0	10.7	4.6	85.0	12.6	16.7	2.6	1.8	12.1	7.1	6.5	4.7	0.7	0.7	231.9
自営・自由業	214	69.6	9.3	4.7	82.7	20.6	14.0	2.8	2.3	12.1	3.7	7.0	3.7	1.4	-	234.1
パート・アルバイト	262	63.7	7.3	2.7	87.4	9.9	7.3	1.5	1.1	13.4	5.0	5.3	4.6	0.4	0.4	209.9
専業主婦・専業主夫	484	65.7	6.6	2.7	88.6	12.8	4.3	1.2	1.0	11.4	1.0	4.3	4.1	0.2	0.2	204.3
学生	47	27.7	8.5	4.3	85.1	4.3	12.8	-	2.1	19.1	2.1	4.3	6.4	8.5	-	185.1
無職	213	74.2	9.9	4.2	82.6	15.5	4.7	1.9	1.9	8.9	1.9	5.2	4.7	2.3	0.5	218.3
その他	9	66.7	11.1	-	88.9	22.2	22.2	22.2	-	11.1	22.2	22.2	-	-	-	288.9

男女別にみると、「新聞報道」、「インターネット」は男性で高く、「テレビ報道」、「家族・友人・知人等の話」は女性で高くなっている。年齢別にみると、「新聞報道」は40代以上で、「インターネット」は40代以下で高くなっている。

## 6 裁判員制度の実施により期待すること

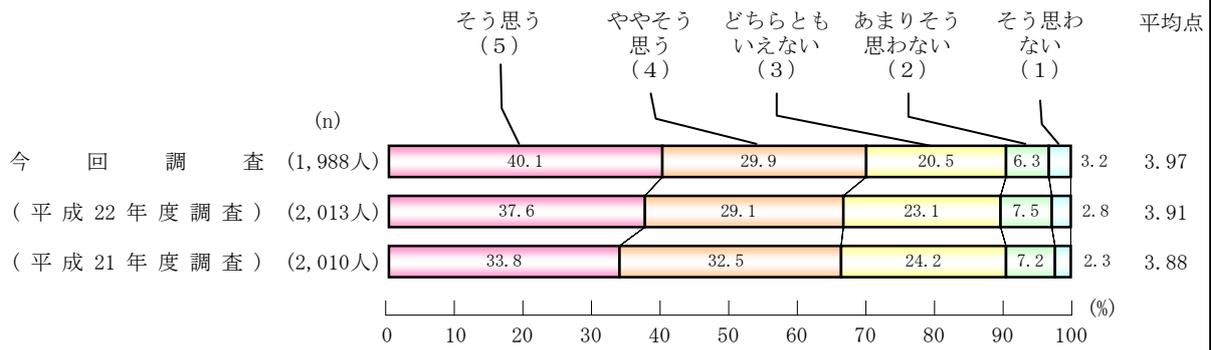
Q6 [回答票6] あなたが裁判員制度の実施により、期待することは何ですか。次の(a)～(i)のそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。



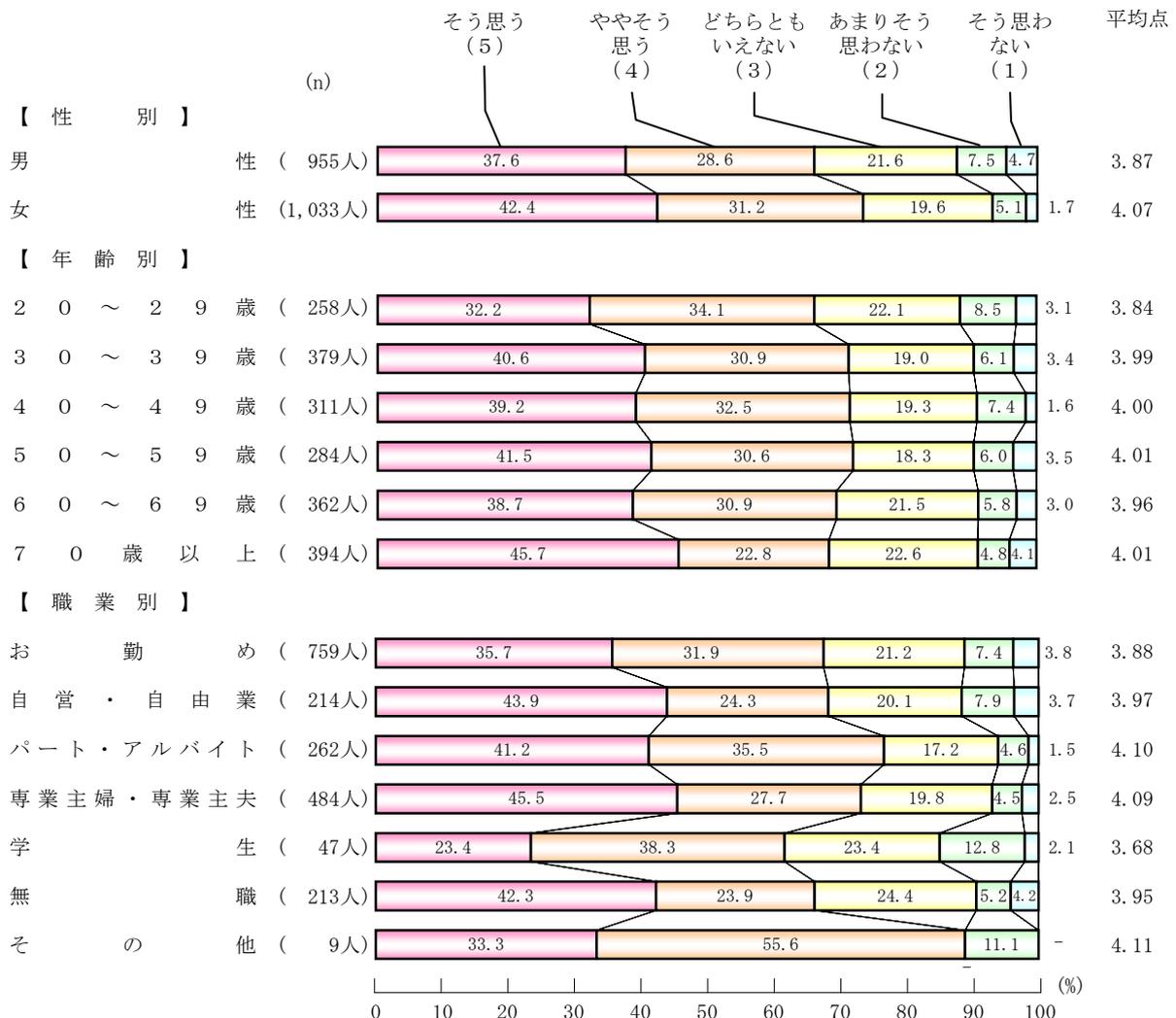
\* 平均点は「そう思う」5点、「ややそう思う」4点、「どちらともいえない」3点、「あまりそう思わない」2点、「そう思わない」1点でウエイト処理したものである。

裁判員制度の実施により期待することを、9項目の内容について聞いたところ、平均点が最も高かったのが『裁判の結果(判断)に国民の感覚が反映されやすくなる』(4.02点)、以下、『裁判がより公正中立なものになる』(3.97点)、『裁判がより信頼できるものになる』(3.88点)、『裁判所や司法が身近になる』(3.87点)、『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになる』(3.80点)、『裁判の結果(判断)がより納得できるものになる』(3.73点)、『裁判の手續や内容がわかりやすくなる』(3.71点)、『事件の真相がより解明される』(3.66点)、『裁判が迅速になる』(3.58点)となっている。

Q6 (a) 裁判がより公正中立なものになる

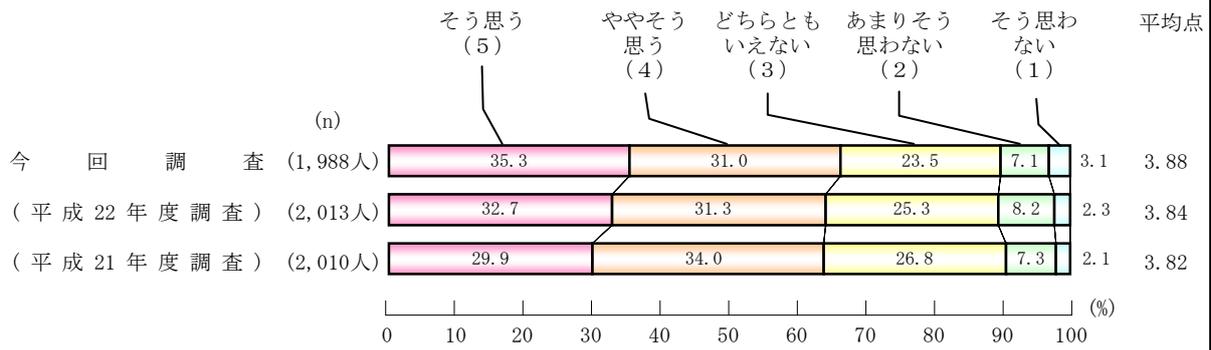


裁判員制度の実施により『裁判がより公正中立なものになる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は70.0%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は9.5%である。

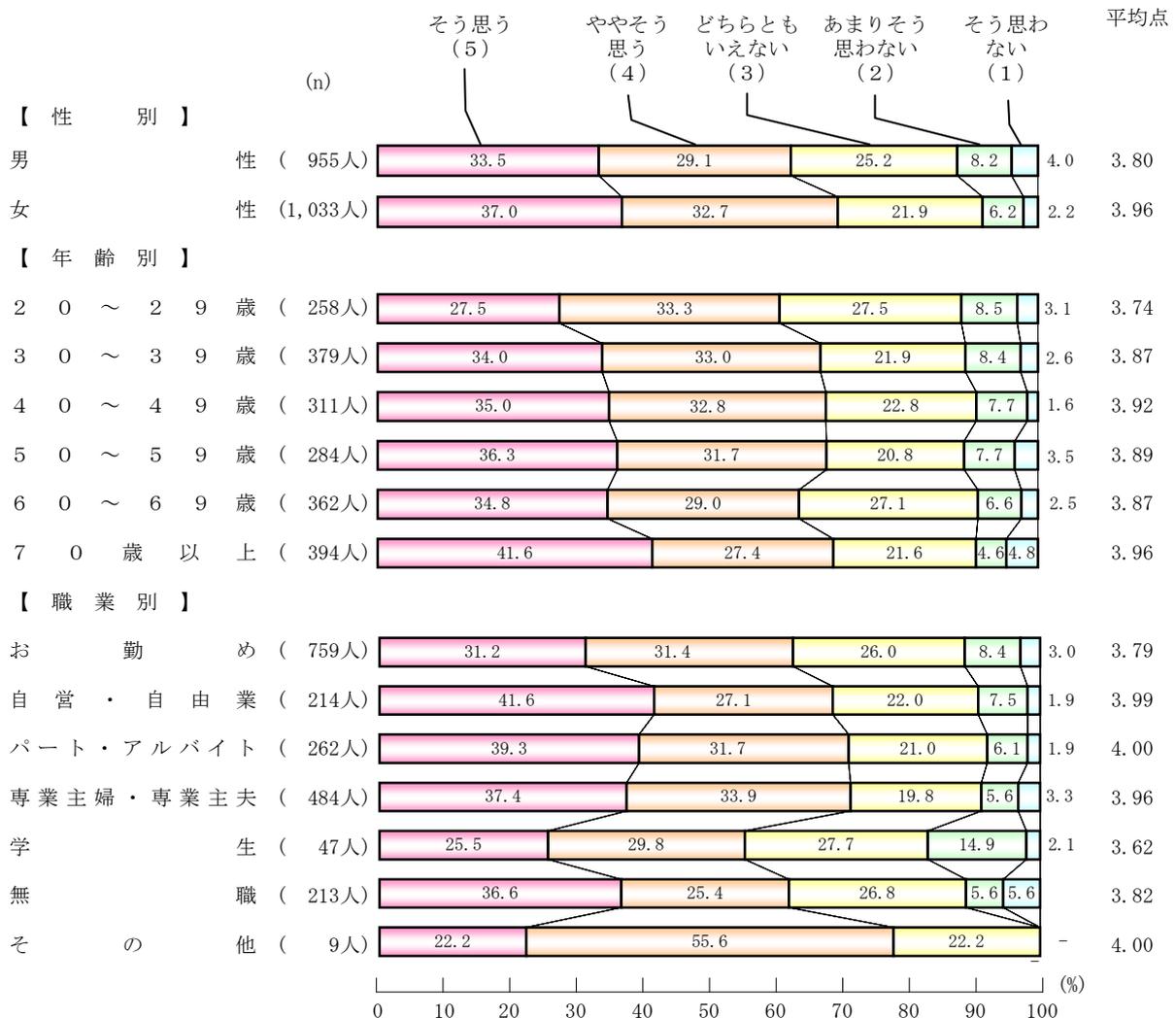


『裁判がより公正中立なものになる』ことに対する期待について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、女性で高く、年齢別にみると、大きな差はみられない。職業別にみると、パート・アルバイトで高くなっている。

Q6 (b) 裁判がより信頼できるものになる

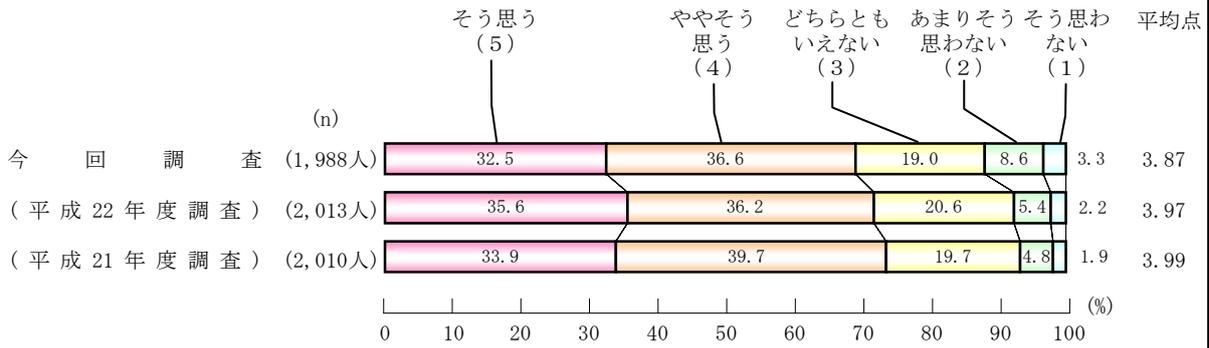


裁判員制度の実施により『裁判がより信頼できるものになる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は66.3%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は10.2%である。

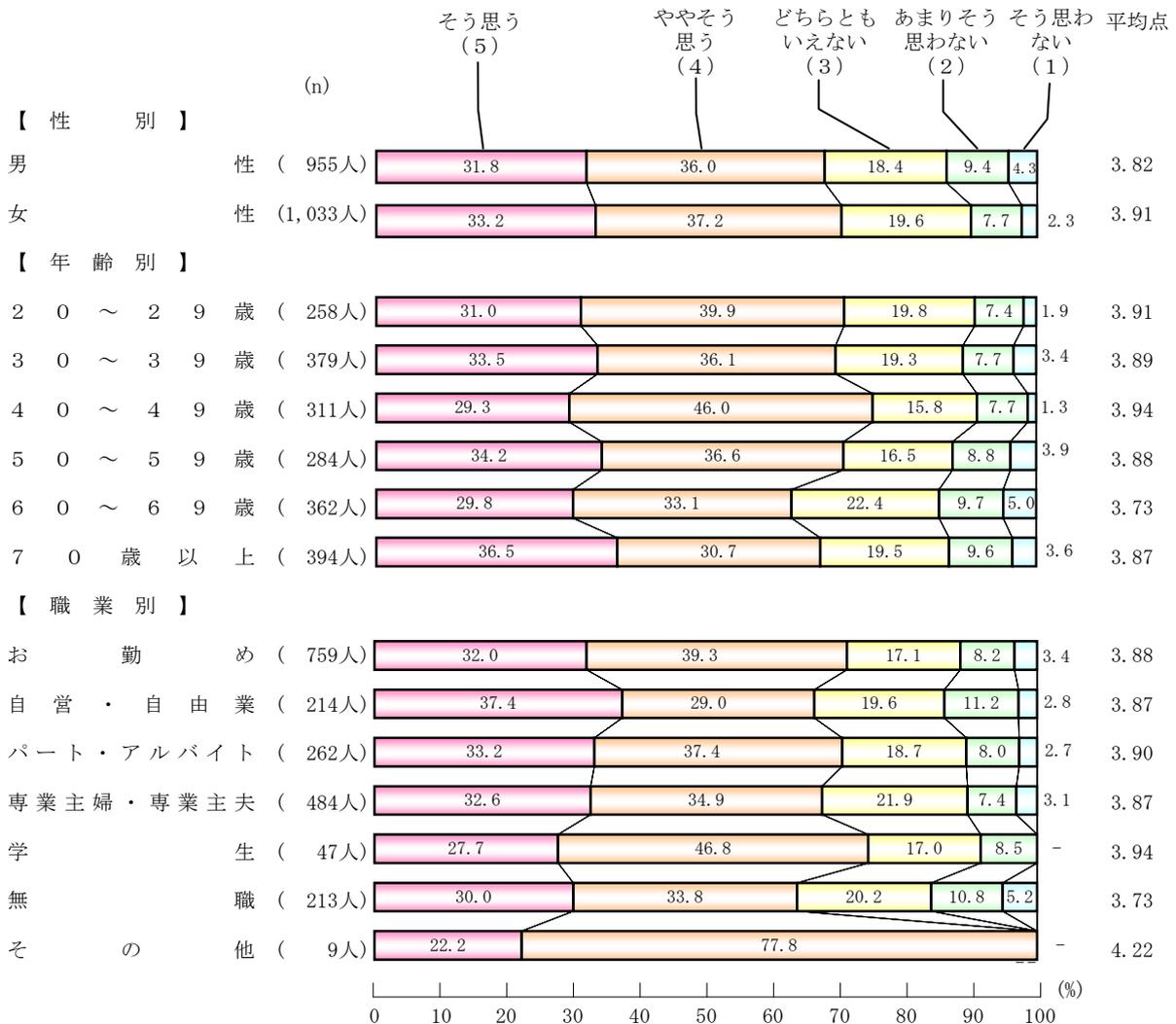


『裁判がより信頼できるものになる』ことに対する期待について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、女性で高く、年齢別にみると、大きな差はみられない。職業別にみると、パート・アルバイト、専業主婦・専業主夫で高くなっている。

Q6 (c) 裁判所や司法が身近になる

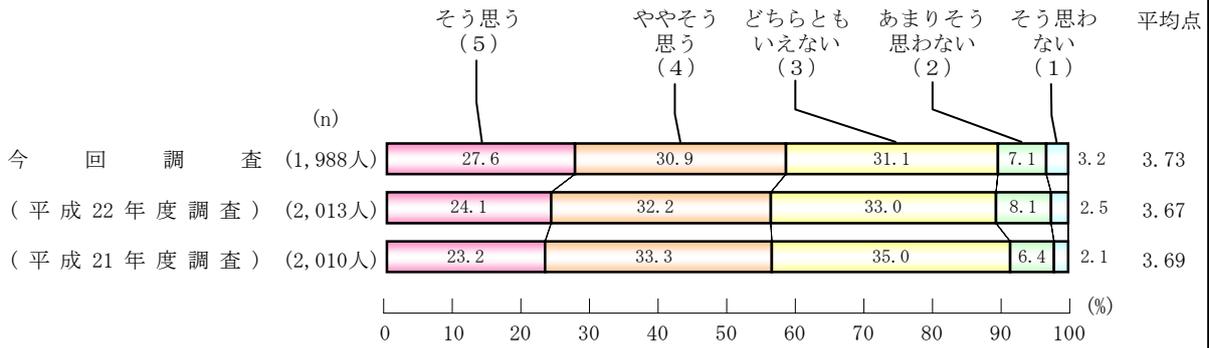


裁判員制度の実施により『裁判所や司法が身近になる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は69.1%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は11.9%である。

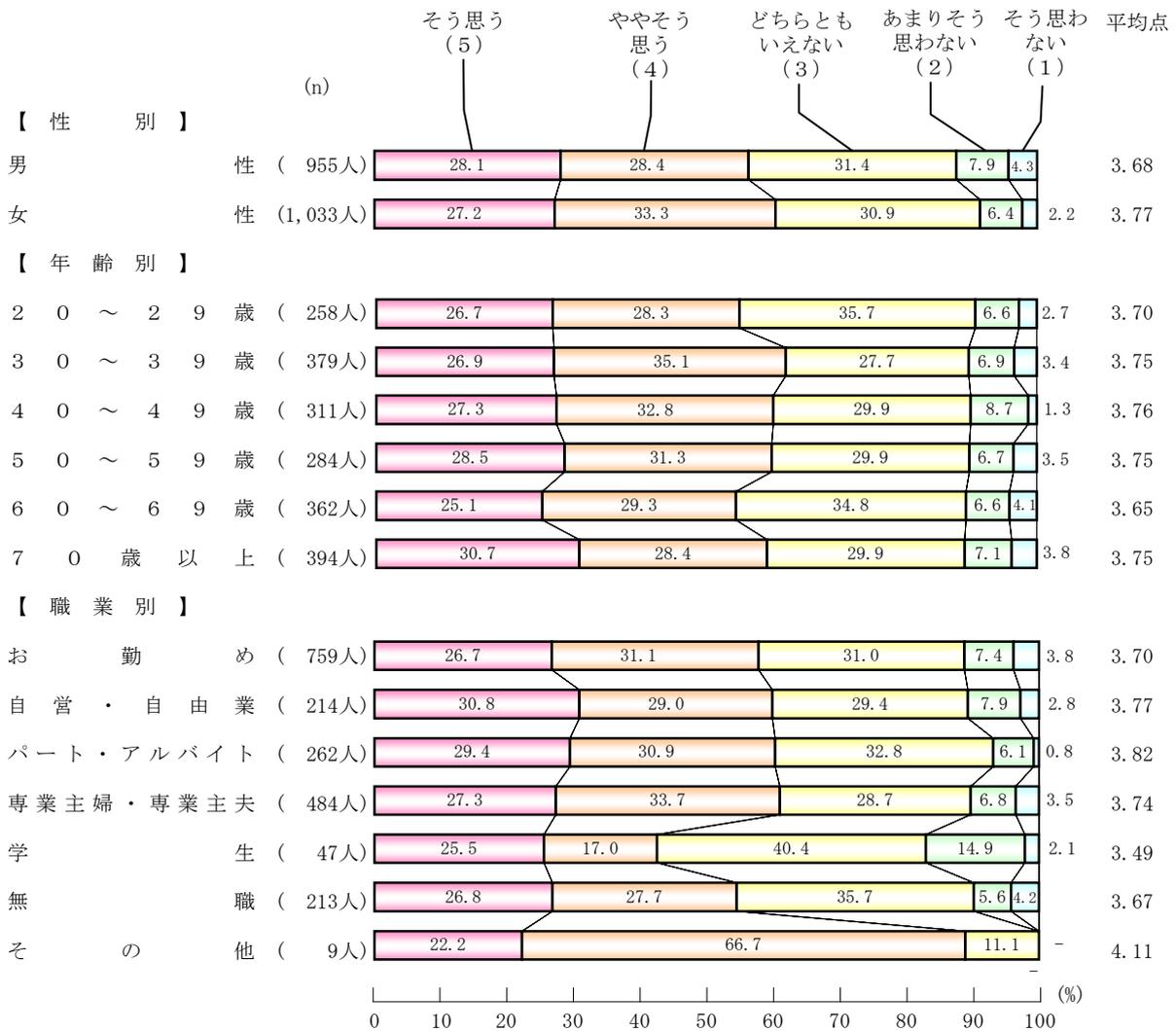


『裁判所や司法が身近になる』ことに対する期待について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差はみられず、年齢別にみると、40代で高く、60代で低くなっている。職業別にみると、無職で低くなっている。

Q6 (d) 裁判の結果(判断)がより納得できるものになる

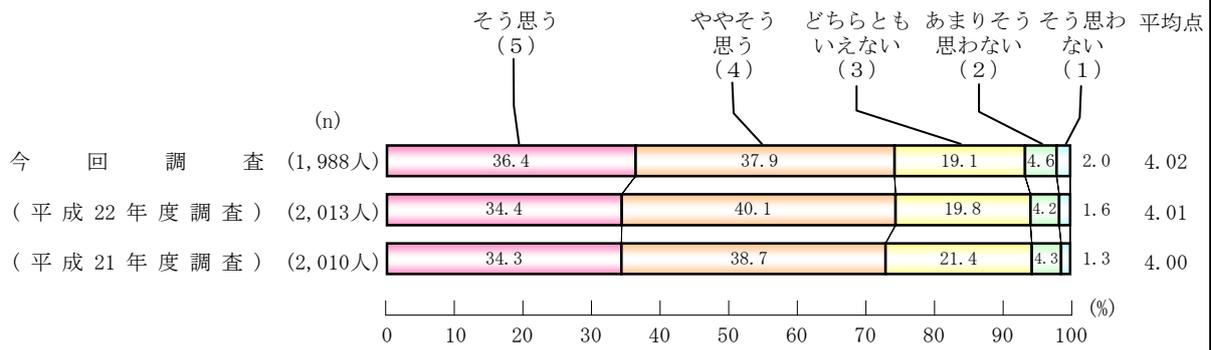


裁判員制度の実施により『裁判の結果(判断)がより納得できるものになる』ことに対する期待では、『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)は58.5%、『そう思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)は10.3%である。

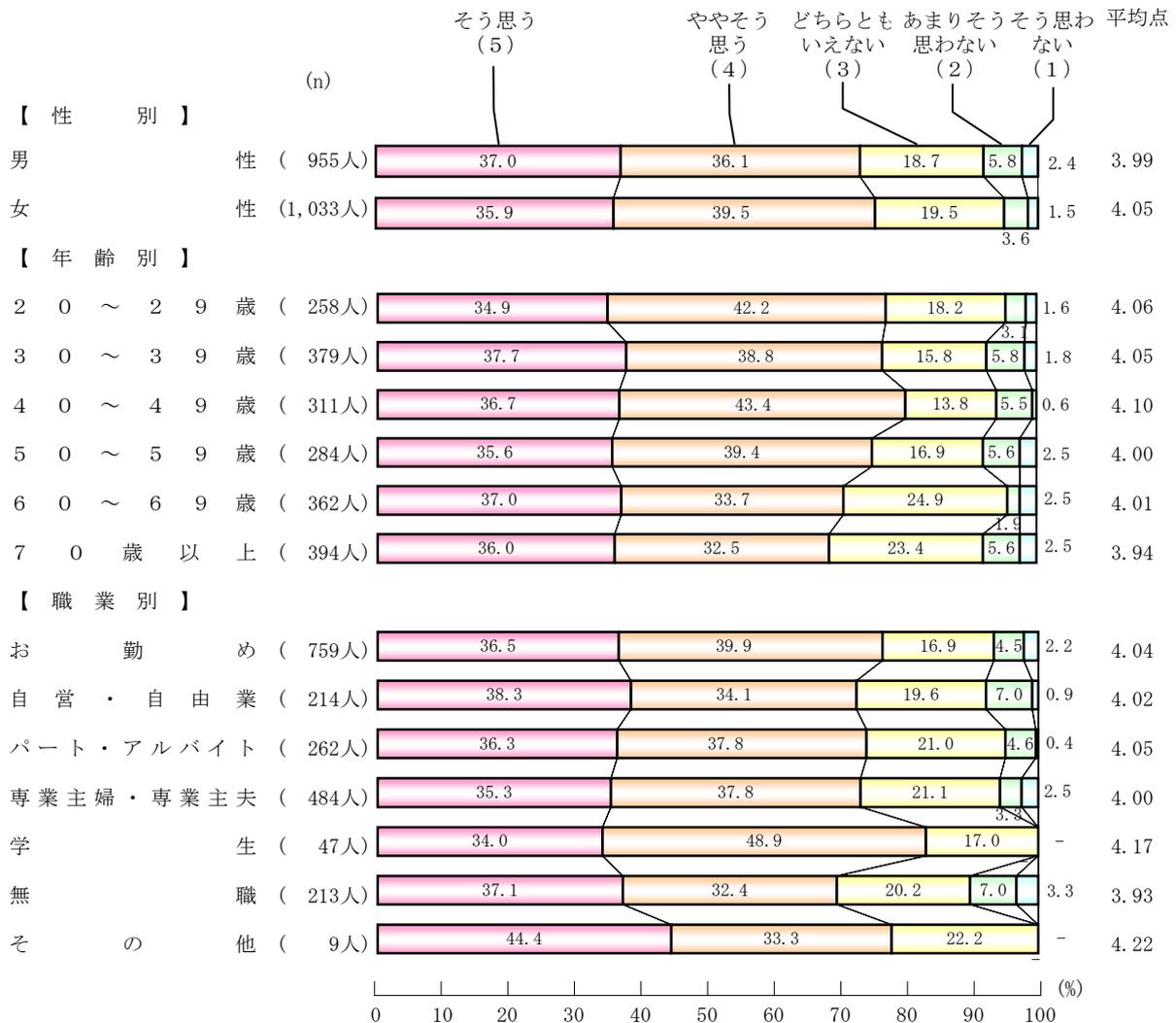


『裁判の結果(判断)がより納得できるものになる』ことに対する期待について、『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)と答えた者の割合は、男女別にみると、女性で高く、年齢別にみると、30代で高くなっている。職業別にみると、学生で低くなっている。

Q6 (e) 裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなる

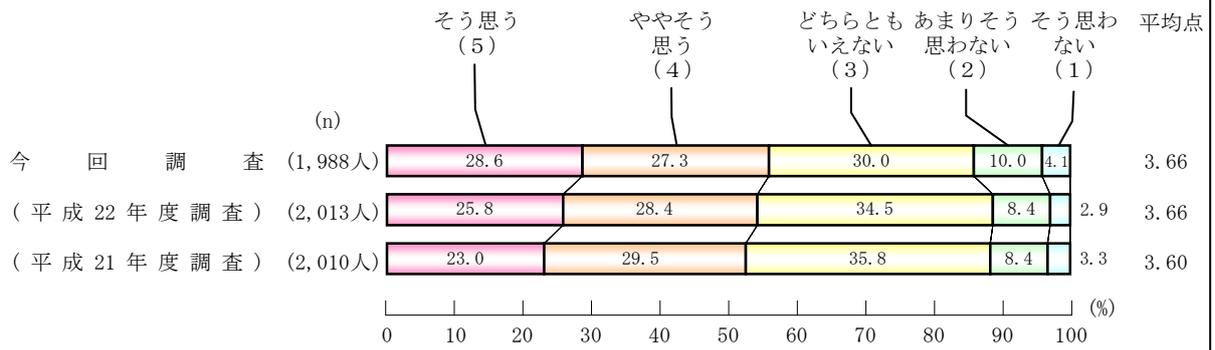


裁判員制度の実施により『裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は74.3%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は6.6%である。

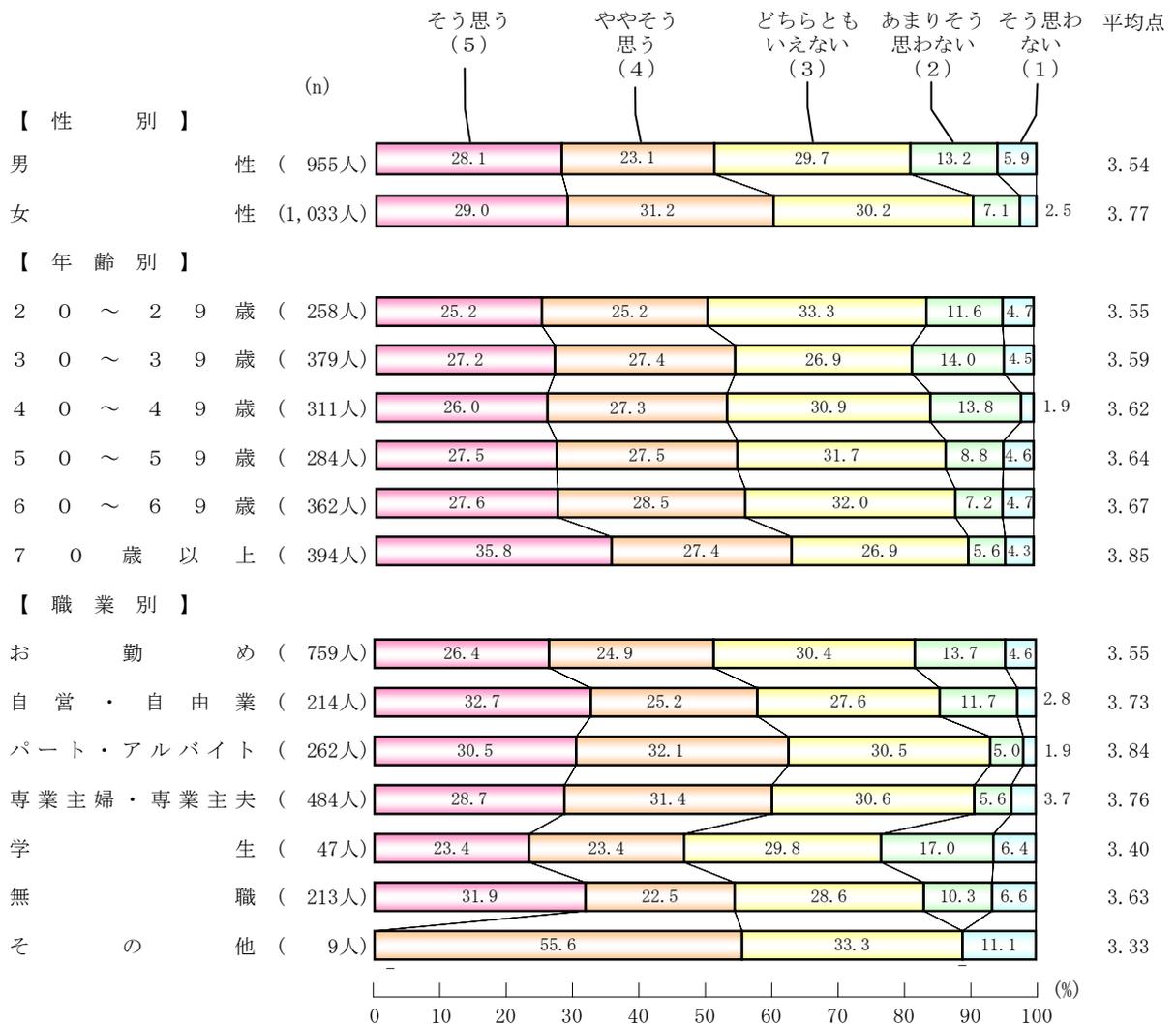


『裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなる』ことに対する期待について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差はみられず、年齢別にみると、40代で高く、70歳以上で低くなっている。職業別にみると、無職で低くなっている。

Q6 (f) 事件の真相がより解明される



裁判員制度の実施により『事件の真相がより解明される』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は55.9%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は14.1%である。



『事件の真相がより解明される』ことに対する期待について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、女性で高く、年齢別にみると、70歳以上で高く、20代で低くなっている。職業別にみると、パート・アルバイトで高くなっている。